

算数オンライン塾 4月12日の問題 解説

円すいの側面積は母線×半径×3.14

円すいの底面積は半径×半径×3.14

したがって表面積は（母線＋半径）×半径×3.14 です。

太線の長さが 50.24cm でこれは底面の円周と同じですから、

$50.24 \div 3.14 \div 2 = 8\text{cm}$ が底面の半径になります。

したがって表面積は

$$25 \times 8 \times 3.14 = 200 \times 3.14 = 628$$

(答え) 628cm^2